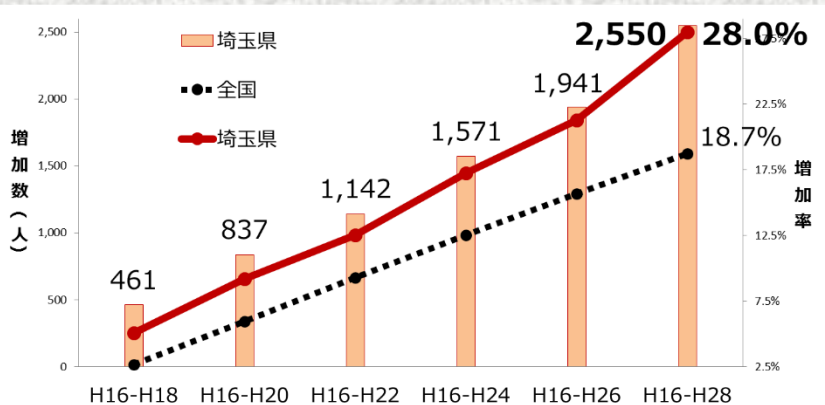


医師の確保対策

① 医師確保の状況について



医師数の推移



▶ **増加数** (平成16年→28年)
2,550 人 (第6位)

▶ **増加率** (平成16年→28年)
28.0 % (第4位)

初期研修医

▶ **増加数** (平成15年→平成30年)
183 人 (第1位)

▶ **増加率** (平成15年→平成30年)
2.11 倍 (第1位)

平成15年度

165人

平成31年度

採用見込み数

348人

(6年連続 過去最高を更新)



医師数

平成28年12月31日現在医師数

11,667人 (第9位)

▶ 直近2年の増加数
609人 (第3位)

▶ 直近2年の増加率
5.5% (第3位)

人口10万人当たり医師数

160人 (第47位)

必要な医師数を左右する主な要因

1 地域の人口構成

平均年齢が高いと医療ニーズが増大

2 患者の受療行動

県内外への流出入により医療ニーズが変化

3 医師の担当科や年齢

医師の診療科偏在や労働力が医療の需給に影響

なお、国の新たな医師偏在指標（H31.4.1暫定）によると
本県の医師偏在指標は 第44位（暫定）

<医師偏在指標算定における5要素>

- ① 医療需要（ニーズ）及び将来の人口・人口構成の変化変動
- ② 医師の性別・年齢分布
- ③ 医師偏在の種別（区域、診療科、入院/外来）
- ④ 患者の流出入
- ⑤ へき地等の地理的要件



奨学金制度の概要

医学生への奨学金制度により県内勤務医師を確保

【貸与額】

月額20万円 6年間で1,440万円

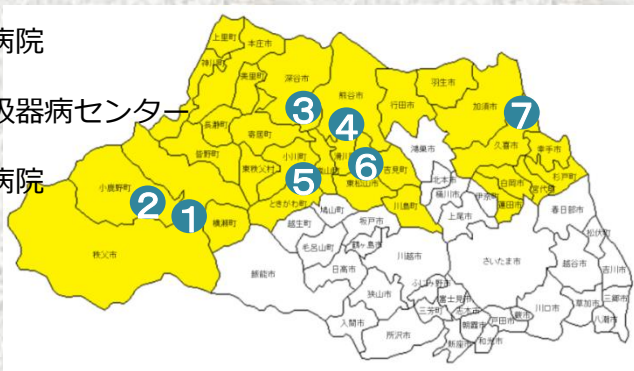
【返済免除要件】

県内臨床研修病院での2年と下記①か②に7年の合計9年間勤務

- ① 県内病院の小児科・産科・救命救急センター
- ② 特定地域（特に医師が不足している地域）の公的医療機関

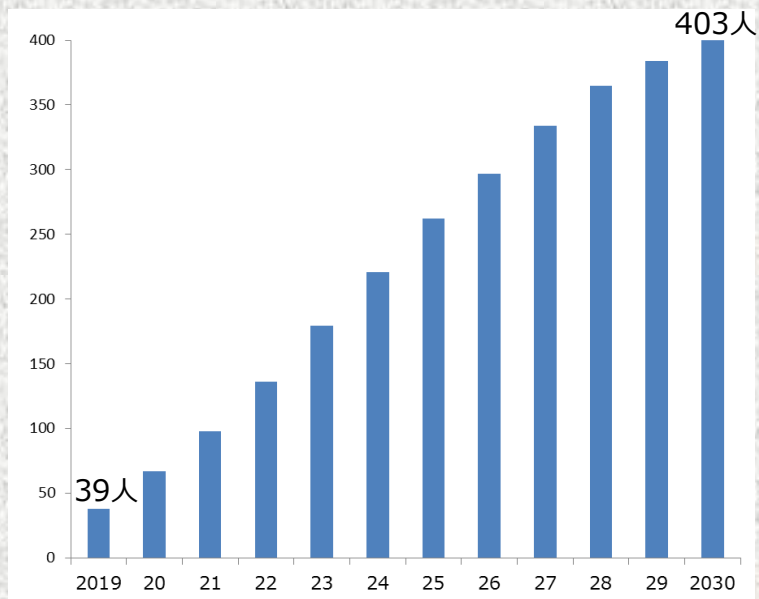
<特定地域の公的医療機関>

- ① 秩父市立病院
- ② 町立小鹿野中央病院
- ③ 深谷赤十字病院
- ④ 県立循環器・呼吸器病センター
- ⑤ 小川赤十字病院
- ⑥ 東松山市立市民病院
- ⑦ 済生会栗橋病院



奨学金制度により

39人 → 400人規模の医師を確保



医師の確保対策

④ 魅力ある埼玉ブランドの構築



魅力アップへ

▶ 留学支援制度の創設

・海外の最先端の知識・技術を習得

▶ 地域医療教育センターの運用

・医療従事者向けシミュレータ教育・研修施設
・行政直営は**全国初**

開設から利用実績 (平成29年4月～31年3月)	利用件数	利用者数
	682件	24,566人



キャリアステージに応じた医師の確保・支援

高校生

▶ 高校生の志養成

・医療体験、医師との懇談会 <H25～**延べ713人**参加>

医学生

▶ 奨学金制度

・「地域偏在」・「診療科偏在」の解消

研修医

▶ 県内臨床研修病院への誘導

・病院合同説明会（自治体として**最多の32病院**参加）

▶ 交流会や情報提供の場

・研修医ウェルカムパーティ（H31 全国**最大規模の300人**参加）

専門医

▶ 研修資金制度

・産科、小児科、救急科の医師確保

指導医

▶ キャリア形成支援

・キャリアコーディネーターによる相談支援



「地域偏在」・「診療科偏在」を解消しブランドカアップへ！